



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 三和ホールディングス株式会社
 コード番号 5929 URL <https://www.sanwa-hldgs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高山 靖司
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 藤井 克巳
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3346-3019

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	82,843	0.6	344	50.5	12	97.9	172	
2020年3月期第1四半期	82,385	7.5	696		630		280	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 446百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 547百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.78	
2020年3月期第1四半期	1.25	1.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	346,951	161,505	46.1
2020年3月期	354,023	165,633	46.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 159,865百万円 2020年3月期 164,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		17.00		17.00	34.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		17.00		17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	178,000	10.6	5,100	53.9	4,600	57.4	2,300	66.9	10.41
通期	390,000	11.4	22,000	35.7	21,000	37.3	12,500	42.3	56.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	231,000,000 株	2020年3月期	231,000,000 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	10,106,764 株	2020年3月期	10,154,344 株
------------	--------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	220,857,548 株	2020年3月期1Q	224,979,055 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

本資料の予測には、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取巻く外部環境は、国内では、新型コロナウイルス感染症の拡大により4月に緊急事態宣言が発令されたことで景気が急速に悪化しました。建築市場においても一部現場の中断などにより弱含みで推移し、受注活動にも影響が生じました。欧米においても、感染拡大による渡航制限や外出制限等により景気は急速に悪化しました。アジアでは主に中国において感染拡大防止のため春節休暇が延長されるなど、経済活動は大幅に低下しました。

このような環境下、当社グループは、「三和グローバルビジョン2020」第三次中期経営計画の2年目を迎え、「グローバル・メジャー」としてのトップブランドの基盤を確立するために引き続き、以下の戦略の取り組みを進めました。コア事業の基本戦略として、国内では、各事業分野でのポジション確立による「動く建材企業」としての成長と事業拡大に向けた体制強化に取り組むとともに昨年買収した鈴木シャッターとのシナジー創出に注力しました。米国では、基幹事業の維持・拡大とともに、周辺事業分野への参入に注力しました。欧州では、産業用製品の更なる拡大と欧州全体のデジタル化の推進を図るとともに昨年買収したロバスト社とのシナジー創出に取り組みました。成長事業の基本戦略として、日米欧のサービス分野の強化を推進し、国内では、法定検査のシェア拡大、欧米ではフィールドサービスシステムの導入推進を図りました。アジア事業では、ドア事業の販売・生産体制の構築、物流市場物件への取り組み強化と生産性改善を行い、また、鈴木シャッター香港を連結範囲に加え、基盤拡充を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けたものの新規連結効果(3.4%の増収効果)により前年同四半期比0.6%増の82,843百万円となりました。利益面では、営業利益は、前年同四半期比50.5%減の344百万円、経常利益は、前年同四半期比97.9%減の12百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は、172百万円(前年同四半期は280百万円の親会社に帰属する四半期純利益)となりました。

なお、当社グループにおける新型コロナウイルス感染症への対応及び影響は以下の通りです。

国内では、販売、管理部門等は可能な限り時差出勤やテレワークにて対応し、感染拡大防止に注力しました。各工場は、現状大きな影響は受けず、稼働を維持しております。施工は、一部現場中断などの影響を受けながら、取付工事及び修理・点検を実施しております。

米国では、販売、管理部門等は原則テレワークにて対応し、一部工場にて一時的に操業停止となったものの大きな影響は受けず全工場にて稼働を維持しております。

欧州では、販売、管理部門等は原則テレワークにて対応し、イタリア・フランス・スペイン・イギリスの工場が3月中旬から4月末にかけ操業停止していましたが、現在では全工場にて操業を維持しております。

アジアでは、中国・香港・台湾の生産・販売活動は2月から3月にかけて操業停止となっておりましたが、現在は通常稼働しております。また、ベトナムにおいては稼働を維持しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に売上債権の回収等により、前連結会計年度末に比べ7,071百万円減少し346,951百万円となりました。負債は、主に仕入債務の減少や未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,943百万円減少し185,446百万円となりました。純資産は、主に期末配当による利益剰余金の減少や為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ4,128百万円減少し161,505百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.2ポイント減少し46.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表致しました2021年3月期の連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,127	53,622
受取手形及び売掛金	88,441	65,781
電子記録債権	9,283	10,251
有価証券	9,600	9,605
商品及び製品	10,730	10,353
仕掛品	25,372	35,741
原材料	25,814	26,413
その他	7,828	9,103
貸倒引当金	△1,666	△1,757
流動資産合計	222,532	219,115
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	22,052	21,455
土地	21,574	21,501
その他（純額）	25,465	25,135
有形固定資産合計	69,091	68,092
無形固定資産		
のれん	5,264	5,713
その他	18,028	17,417
無形固定資産合計	23,292	23,131
投資その他の資産		
投資有価証券	25,159	22,372
退職給付に係る資産	5,621	5,718
その他	8,773	8,969
貸倒引当金	△448	△447
投資その他の資産合計	39,107	36,613
固定資産合計	131,491	127,836
資産合計	354,023	346,951

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,407	49,947
短期借入金	6,187	6,633
1年内返済予定の長期借入金	5,747	1,492
未払法人税等	5,851	1,150
賞与引当金	6,161	8,054
その他	35,715	41,279
流動負債合計	114,071	108,557
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	11,795	14,550
役員退職慰労引当金	386	433
退職給付に係る負債	13,688	13,449
その他	8,448	8,455
固定負債合計	74,318	76,889
負債合計	188,389	185,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,902
利益剰余金	91,725	87,781
自己株式	△10,036	△9,989
株主資本合計	160,005	156,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	257
繰延ヘッジ損益	41	8
為替換算調整勘定	6,531	5,939
退職給付に係る調整累計額	△2,607	△2,448
その他の包括利益累計額合計	4,059	3,757
新株予約権	281	260
非支配株主持分	1,286	1,379
純資産合計	165,633	161,505
負債純資産合計	354,023	346,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	82,385	82,843
売上原価	58,703	58,390
売上総利益	23,682	24,452
販売費及び一般管理費	22,986	24,107
営業利益	696	344
営業外収益		
受取利息	125	78
受取配当金	171	167
その他	103	63
営業外収益合計	400	309
営業外費用		
支払利息	159	125
為替差損	—	209
持分法による投資損失	20	66
その他	286	239
営業外費用合計	466	641
経常利益	630	12
特別利益		
固定資産売却益	6	0
投資有価証券売却益	13	0
特別利益合計	20	0
特別損失		
固定資産除売却損	2	2
子会社事業再構築費用	21	5
関係会社整理損	0	—
不具合対策損失	—	31
その他	—	3
特別損失合計	24	42
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	625	△28
法人税等	325	115
四半期純利益又は四半期純損失(△)	300	△143
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	28
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	280	△172

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	300	△143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△451	162
繰延ヘッジ損益	6	△32
為替換算調整勘定	△607	△533
退職給付に係る調整額	113	158
持分法適用会社に対する持分相当額	92	△57
その他の包括利益合計	△847	△302
四半期包括利益	△547	△446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△556	△459
非支配株主に係る四半期包括利益	9	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,232	27,419	17,598	1,119	82,369	15	82,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54	17	11	—	82	△82	—
計	36,286	27,436	17,609	1,119	82,452	△66	82,385
セグメント利益 又は損失(△)	139	979	486	△78	1,526	△830	696

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 15百万円
- ・セグメント間取引消去 △82百万円

(2) セグメント利益又は損失(△)

- ・その他の利益 15百万円
- ・全社費用 △408百万円
- ・のれんの償却額 △359百万円
- ・その他の調整額 △78百万円
- ・セグメント間取引消去 0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 日本を除く各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米……アメリカ、カナダ他

欧州……ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他

アジア…中国、香港、台湾、ベトナム

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,628	27,632	17,259	1,307	82,827	15	82,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	22	12	—	71	△71	—
計	36,664	27,654	17,271	1,307	82,898	△55	82,843
セグメント利益 又は損失(△)	△293	1,098	335	42	1,182	△837	344

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 15百万円
- ・セグメント間取引消去 △71百万円

(2) セグメント利益又は損失(△)

- ・その他の利益 15百万円
- ・全社費用 △380百万円
- ・のれんの償却額 △371百万円
- ・その他の調整額 △102百万円
- ・セグメント間取引消去 0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 日本を除く各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米……アメリカ、カナダ他

欧州……ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他

アジア…中国、香港、台湾、ベトナム

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。